

感覚研究コンソーシアム 第一回 視覚ワーキンググループ セミナー

演者：栗原 俊英 先生

(慶應義塾大学医学部眼科学教室 准教授)

講演タイトル：「生体の光応答から考える眼疾患の病態生理と治療開発」

日時：2023年1月17日(火) 15時より

註) 1時間ほどの講演・質疑のあと、アカデミア特別会員はご退出していただき、講師と企業会員のみの交流会を企画します。

皆様のご参加登録、お待ちしております。

講演要旨

医療技術が飛躍的に発展を遂げた現在においても未だ克服できない失明原因疾患が存在する。また頻度・程度いずれも増加する近視の一部は視覚障害を伴う眼疾患を併発するリスクを高めることが知られ、その進行抑制が喫緊の課題となっている。本講演では、低酸素応答制御による新規網膜視神経疾患治療開発、光遺伝学利用した網膜色素変性に対する視覚再生遺伝子治療、非視覚型オプシンを介した近視進行抑制開発について紹介する。